

介五郎

介護保険版

差分マニュアル

Ver. 11.6.0.0



株式会社インフォ・テック

目次

1.はじめに.....	2
2. 福祉用具貸与の変更	3
2-1. 令和6年度版ふくせん計画書への対応.....	3
2-1-1. 令和6年度版の変更点	6
2-1-2. 画面説明	18

1.はじめに

今回リリースいたしました「介五郎（介護保険版）Ver11.6.0.0」では、今年度の改正で追加・変更が行われた帳票のうち、下記帳票に対応しました。

■ 令和6年4月度版 ふくせん福祉用具サービス計画書への対応

今年度の改正で様式変更されたふくせん福祉用具サービス計画書に対応しました。バージョンアップを行うと計画書・モニタリングシートの様式が自動で新しい様式に変わります。

様式変更後も旧様式で作成したデータを参照し、新様式に複写することは可能です。

2. 福祉用具貸与の変更

2-1. 令和6年度版ふくせん計画書への対応

今年度の改正において、一部の福祉用具に係る貸与と販売の選択制導入とモニタリング実施時期の明確化（下記改正内容参照）に伴い、「ふくせん版福祉用具サービス計画書」と「モニタリングシート」の様式が改訂されました。今回のバージョンでこの令和6年度版の計画書・モニタリングシートに対応しました。

【令和6年度 改正内容（抜粋）】

1. 一部の福祉用具に係る貸与と販売の選択制の導入	
<p>○利用者の過度な負担を軽減しつつ、制度の持続可能性の確保を図るとともに、福祉用具の適時・適切な利用、利用者の安全を確保する観点から、<u>一部の福祉用具について貸与と販売の選択制を導入</u>する。具体的には、要介護度に関係なく給付が可能な福祉用具のうち、比較的廉価で、購入した方が利用者の負担が抑えられる者の割合が相対的に高い、<u>固定用スロープ、歩行器（歩行車を除く）、単点杖（松葉づえを除く）及び多点杖を対象</u>とする。【告示改正】</p>	
<p>○福祉用具の適時・適切な利用、利用者の安全を確保する観点から、貸与と販売の選択制の導入に伴い、以下の対応を行う。</p>	
<p>ア 選択制の対象福祉用具の提供に当たっては、福祉用具専門相談員又は介護支援専門員（※）が、<u>福祉用具貸与又は特定福祉用具販売のいずれかを利用者が選択できることについて</u>、利用者等に対し、<u>メリット及びデメリットを含め十分説明を行う</u>こととするとともに、利用者の選択に当たって<u>必要な情報を提供すること及び医師や専門職の意見、利用者の身体状況等を踏まえ、提案を行う</u>こととする。【省令改正、通知改正】</p> <p>（※介護支援専門員については、居宅介護支援及び介護予防支援の運営基準の解釈通知を改正）</p>	
<p>イ 福祉用具貸与について、選択制の対象福祉用具の提供に当たっては、福祉用具専門相談員が、<u>利用開始後6月以内に少なくとも1回モニタリング</u>を行い、貸与継続の必要性について検討を行うこととする。【省令改正】</p>	
<p>ウ 特定福祉用具販売について、選択制の対象福祉用具の提供に当たっては、福祉用具専門相談員が、特定福祉用具販売計画の作成後、当該計画における<u>目標の達成状況を確認</u>することとする。また、利用者等からの要請等に応じて、販売した福祉用具の使用状況を確認するよう努めるとともに、必要な場合は、使用方法の指導、修理等（メンテナンス）を行うよう努めることとする。【省令改正】</p>	

2. モニタリング実施時期の明確化	
旧	新
<p>福祉用具専門相談員は、利用者の希望、心身の状況及びその置かれている環境を踏まえ、指定福祉用具貸与の目標、当該目標を達成するための具体的なサービスの内容等を記載した福祉用具貸与計画を作成しなければならない。</p>	<p>福祉用具専門相談員は、利用者の希望、心身の状況及びその置かれている環境を踏まえ、指定福祉用具貸与の目標、当該目標を達成するための具体的なサービスの内容、<u>福祉用具貸与計画の実施状況の把握（モニタリング）を行う時期等を記載</u>した福祉用具貸与計画を作成しなければならない。</p>

■ 印刷様式の変更点

計画書の様式変更は「利用計画」のみで「基本情報」「選定提案」は変更ありません。

＜ふくせん福祉用具サービス計画書（利用計画）＞
 （説明文は全国福祉用具専門相談員協会のHPより引用）

ふくせん福祉用具サービス計画書（利用計画）							管理日 令和06年12月10日
フリガナ	カゴ サブヨ	性別	生年月日	年齢	要介護度	認定期間	
利用者名	介護 三郎	様 男	M T (S) 20年01月01日	79	要介護3	令和04年08月01日 ~ 令和08年07月31日	
居宅介護 支援事業所	インフォ・テック ケアプラン					担当ケアマネジャー ケアマネジャー A	
※	生活全般の解決すべき課題・ニーズ （福祉用具が必要な理由）			福祉用具利用目標			
1	肩の痛みや下肢の筋力低下のため起居動作時に痛みやふらつきがあるため、特殊寝台及び付属品を使用。			起居動作時の痛みの緩和			
2	選択制対象種目の販売品において目標達成状況の確認が 必須となったことから、利用目標と選定した福祉用具の 関係性が紐づくように修正。						
3							
4							
5							
選定福祉用具 (1 / 1 枚)							
※の 対応	サービス種目(貸与・販売)		機種名		選定理由		
	型式	TAIS・届出コード					
1	特殊寝台貸与	特殊寝台001		起き上がり動作が困難なので、背を上げられるベッドを選定			
	tokusyu001	00496-000395		選定した福祉用具が貸与もしくは販売なのかが書面で分かるように修正。 また、ケアプランデータ連携システムに対応すべく、TAIS・届出コードを記載する欄を追加。			
納品時に〇〇に注意							
留意事項	利用者の同意欄に福祉用具の貸与・販売選択制導入に係る確認項目をチェックボックス式で追加。						
	<input type="checkbox"/> 私は、貸与・販売の選択制対象の福祉用具に関する説明、及び選択に必要な情報の提供と提案を受けました。						
<input type="checkbox"/> 私は、貸与の候補となる福祉用具の全国平均貸与価格等の説明を受けました。					日付	年 月 日	
<input type="checkbox"/> 私は、貸与の候補となる機能や価格の異なる複数の福祉用具の提示を受けました。					署名		
<input type="checkbox"/> 私は、福祉用具サービス計画の内容について説明を受け、内容に同意し、計画書の交付を受けました。					(続柄) 代筆者名	()	
法人名	株式会社インフォ・テック				福祉用具専門相談員 担当A		
事業所名	インフォ・テック 福祉用具				次回モニタリング 令和07年01月01日		
住所	大阪府大阪市東成区中道〇-〇-〇				TEL	00-0000-0000	
					FAX	00-0000-0001	
「モニタリング時期の明確化」を受け、次回モニタリング実施日の記載欄を追加。							

<モニタリングシート>

（説明文は全国福祉用具専門相談員協会のHPより引用）

ふくせんモニタリングシート （利用状況確認書）		管理日 令和06年12月31日 (1 / 1 枚)	
		モカク実施日 令和06年12月31日	前回実施日
お話を伺った人 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者 <input checked="" type="checkbox"/> 家族 <input type="checkbox"/> 他()		確認手段 <input checked="" type="checkbox"/> 訪問 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> 他()	
法人名 株式会社インフォ・テック		事業所名 インフォ・テック 福祉用具	
福祉用具専門相談員 担当A		事業所住所 大阪府大阪市東成区中道〇〇〇〇〇	
フリガナ 介五郎	利用者名 介五郎	ケアプラン ケアマネジャーA	定期間 令和04年08月01日 ~ 令和08年07月31日
※ 福祉用具利用目標		目標達成状況	
		達成度	詳細
1	起居動作時の痛みの緩和	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 一部達成 <input type="checkbox"/> 未達成	特殊寝台（介護ベッド）を使用することで、本人の精神的・身体的苦痛を軽減することができている。
2		<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 一部達成 <input type="checkbox"/> 未達成	
3		<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 一部達成 <input type="checkbox"/> 未達成	
4		<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 一部達成 <input type="checkbox"/> 未達成	
※この対応	利用福祉用具（サービス種目） 機種（型式）	利用開始日	利用状況の問題 点検結果 今後の方針 理由等 ※選択制対象種目の検討含む
1	特殊寝台貸与 特殊寝台001	令和06年 12月01日	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 再検討 負担軽減に役立っているため
			<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 再検討
利用者等の変化			
身体状況・ADLの変化	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	介護環境①（家族の状況）の変化	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり
意欲・意向等の変化	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	介護環境②（サービス利用等）・住環境の変化	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり
総合評価			
福祉用具サービス計画の見直しの必要性	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	利用計画の修正と同様	
次回モニタリング 令和07年01月01日			

（利用状況確認書）

訪問以外の方法でモニタリングを実施することもあることから、名称を変更。

「訪問」「電話」以外にも確認手段を選択できるように「他（）」を追加。

利用計画の修正と同様

利用計画の修正と同様

選択制対象の福祉用具を貸与した場合に、貸与継続の必要性の検討について、抜け漏れなく実施していただくように注釈を追加。

利用計画の修正と同様

【参考】全国福祉用具専門相談員協会「ふくせん版『福祉用具サービス計画書』『モニタリングシート』」
https://www.zfssk.com/sp/1204_monitoring/index.html

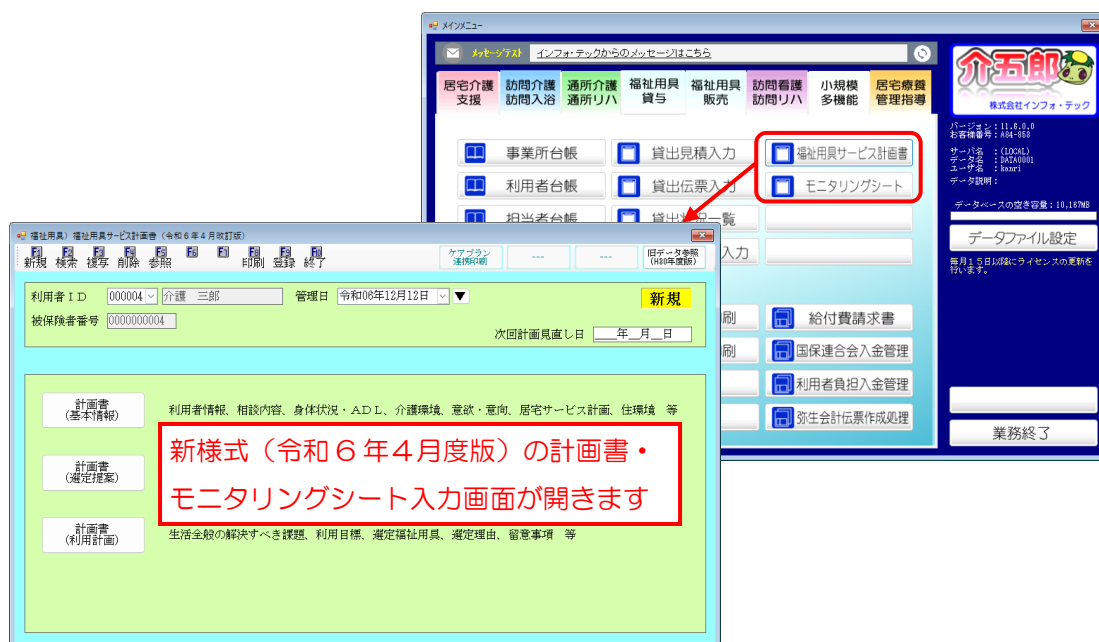
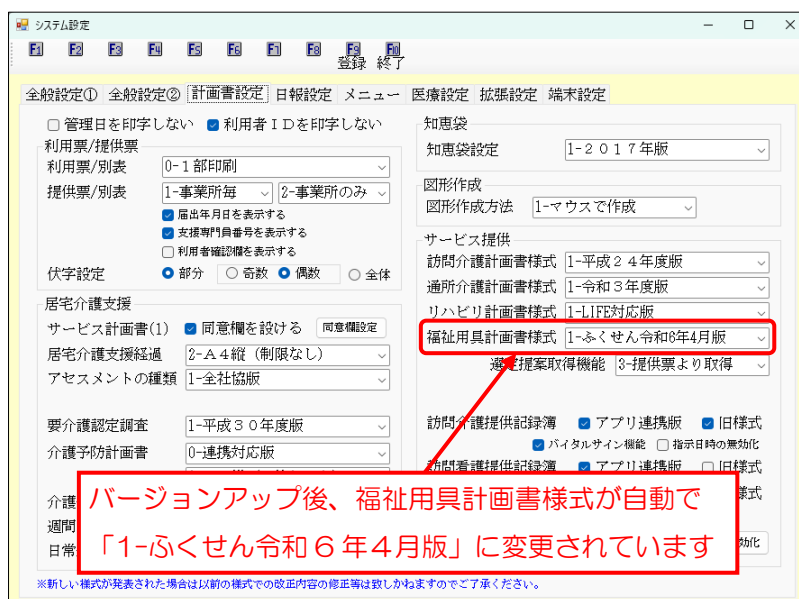
2-1-1. 令和6年度版の変更点

令和6年度版「福祉用具サービス計画書」「モニタリングシート」の入力方法・項目は平成30年度版から大きく変わっていません。そのため変更されたポイントに絞ってご説明します。

(1) バージョンアップ後の計画書様式

バージョンアップをするとシステム設定の福祉用具計画書様式が自動で令和6年4月度版に切り替わります。そのまま計画書作成画面を開くと、令和6年度様式の計画書・モニタリングシートの作成画面が表示されます。

<システム設定>



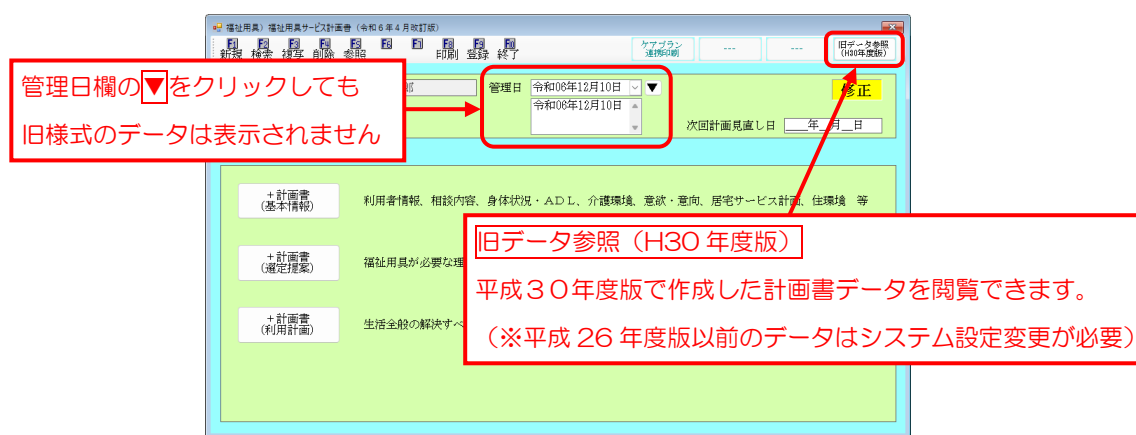
注意！

【旧データについて】

過去に作成した計画書・モニタリングシートのデータは新様式の入力画面に表示されませんが削除されたわけではありません。下記の方法で参照できるようになっており、令和6年度版に複写することもできます。詳しくは次ページ以降でご説明します。

- ①平成30年度版で作成されたデータ ▶ **旧データ参照（H30年度版）**をクリックして呼び出せます。
- ②平成26年度版以前の様式で作成されたデータ ▶ システム設定を変更することで呼び出せます。

（福祉用具サービス計画書）



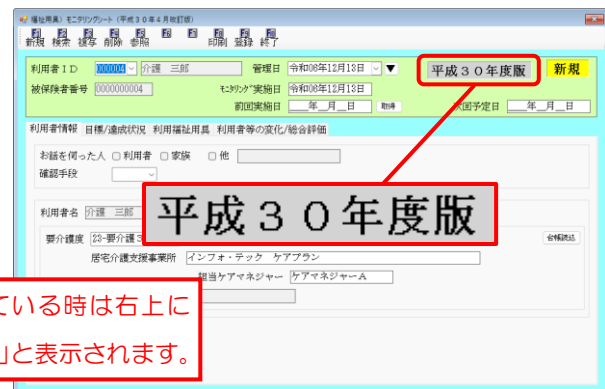
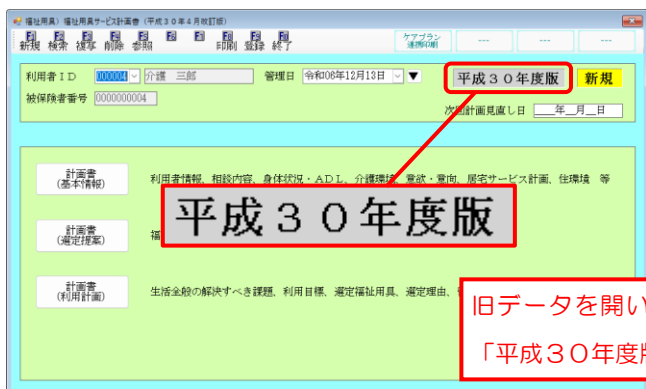
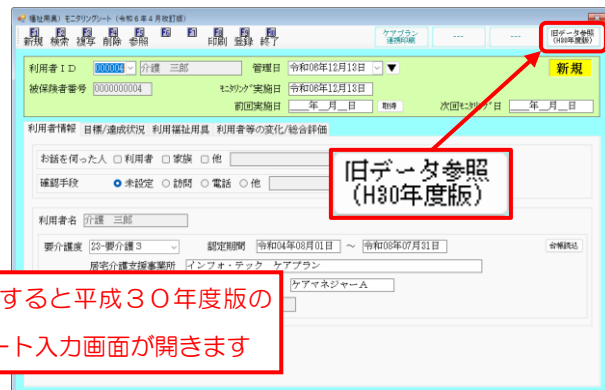
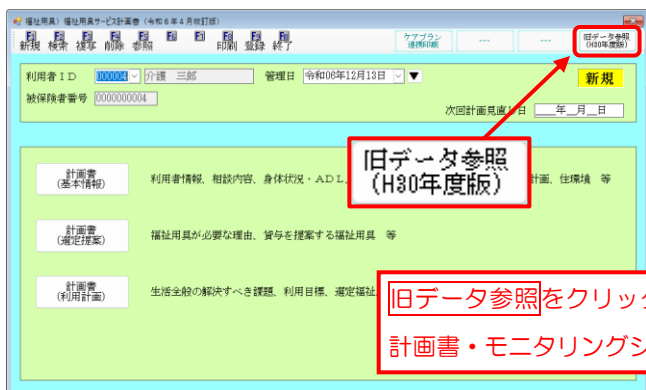
(2) 旧データの参照方法

旧様式で作成した計画書・モニタリングシートは令和6年度版の画面では呼び出せませんが「旧データ参照(H30年度版)」をクリックすると平成30年度版の入力画面が開き、過去分を閲覧できるようになります。

平成30年度版の計画書・モニタリングシートを参照しているときは、画面上部に「平成30年度版」と表示されます。

(福祉用具サービス計画書)

(モニタリングシート)

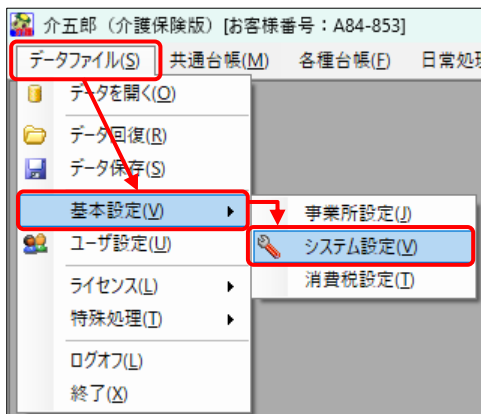


注意！

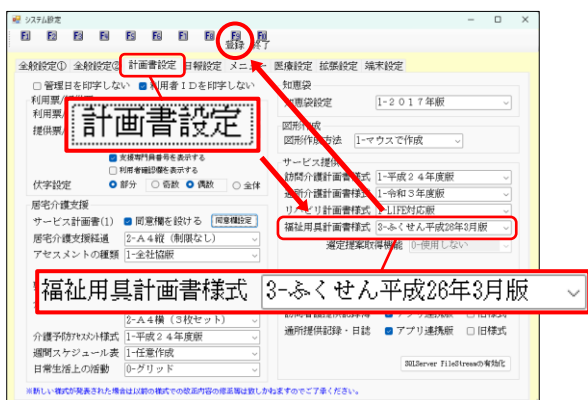
【平成 26 年度版以前のデータを見るにはシステム設定変更が必要です】

旧データ参照ボタンで呼び出せるのは平成 30 年度版の様式で作成されたデータのみです。それよりも古い平成 26 年度版以前のデータを参照するにはシステム設定で福祉用具計画書様式を変更する必要があります。

＜福祉用具計画書様式の変更方法＞

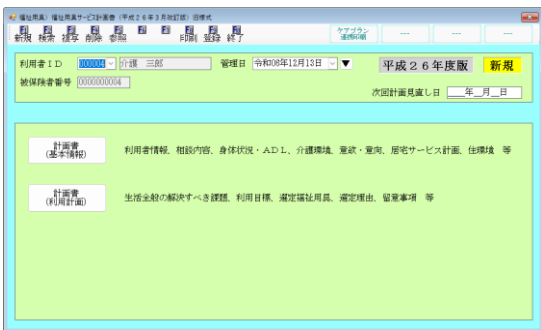


① 画面上部の「データファイル(S)」－「基本設定(V)」－「システム設定(V)」をクリックします。



② 「計画書設定」タブをクリックして画面を切り替え、「福祉用具計画書様式」欄を閲覧したい年度の様式に変更します。

変更したら **F9 登録** をクリックして登録してください。



③ 計画書・モニタリングシートを開くと旧様式の画面が表示されるようになります。

(3) 旧データから令和 6 年度版への複写

旧様式で作成していた計画書・モニタリングシートは令和 6 年度版に複写することができます。ただし、令和 6 年度版と内容が異なる・項目が足りない箇所については複写後に見直して修正する必要があります。

旧様式で作成したデータは複写時に「旧」マークが付き、見分けられるようになっています。

(例) 平成 30 年度版で作成した計画書を令和 6 年度版に複写する場合

利用計画

課題・目標 選定福祉用具

【選定福祉用具 (レンタル・販売)】

品目	機種 (型式)	単位数	選定理由
特殊寝台貸与	特殊寝台001	1000	立ち上がりが困難なので、高さを膝下の長さ以上に調整できるベッドを選定。

選定福祉用具 (レンタル・販売) 入力

サービス種類 17-福祉用具貸与

サービス内容 1003-特殊寝台貸与

品目 特殊寝台貸与

機種 (型式) 特殊寝台001

単位数 1000単位

選定理由 立ち上がりが困難なので、高さを膝下の長さ以上に調整できるベッドを選定。

確定

複写機能

利用者 ID 000004 介護 三郎

区分	複写元の日付
旧	令和06年12月10日
旧	令和06年12月01日
旧	令和06年11月01日
旧	令和04年12月12日

基本情報
選定提案
利用計画

複写開始

※区分「旧」は平成30年4月版で作成されたものです

利用計画

課題・目標 選定福祉用具

【選定福祉用具 (レンタル・販売)】

品目	機種 (型式)	単位数	選定理由
特殊寝台貸与		1000	立ち上がりが困難なので、高さを膝下の長さ以上に調整できるベッドを選定。

選定福祉用具 (レンタル・販売) 入力

サービス種類 17-福祉用具貸与

サービス内容 1003-特殊寝台貸与

サービス種目 特殊寝台貸与 (貸与・販売)

機種名 特殊寝台001

単位数 1000単位

型式 TAIS
届出コード

選定理由 立ち上がりが困難なので、高さを膝下の長さ以上に調整できるベッドを選定。

確定

令和 6 年度版で追加された項目は複写後も空白のまま → 複写後に見直しが必要

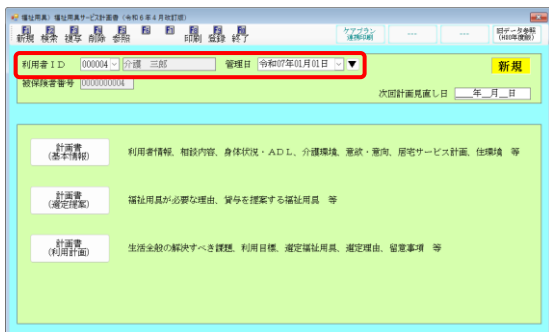
<旧様式から令和6年度版に複写する手順>

（例）平成30年度版で作成した福祉用具サービス計画書を令和6年度版に複写する場合

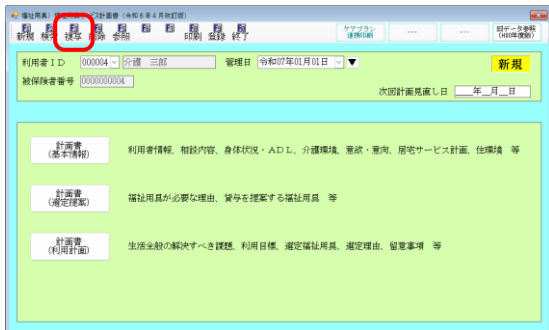
※モニタリングシートも手順は同様です



① メインメニューより福祉用具サービス計画書を開きます。



② 令和6年度版を表示した状態で複写先の利用者・管理日を選択します。



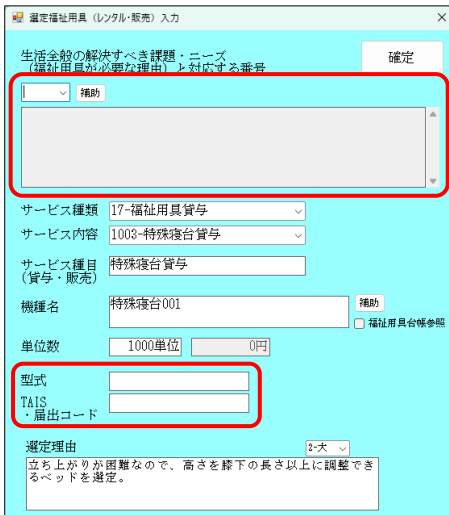
③ **F3 複製** をクリックします。



④ 複写画面が表示されます。このとき旧様式で作成された計画書は区分欄に「旧」と表示されます。

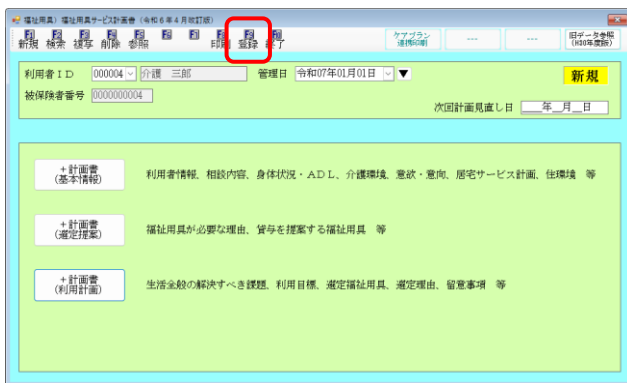


- ⑤ 複写元にする日付をクリックし、**複写開始**をクリックしてください。



- ⑥ 旧様式の内容が複写されます。複写後は必ず見直し、令和6年度版で追加された項目を入力してください。

※見直しが必要な項目はこの後に説明します。

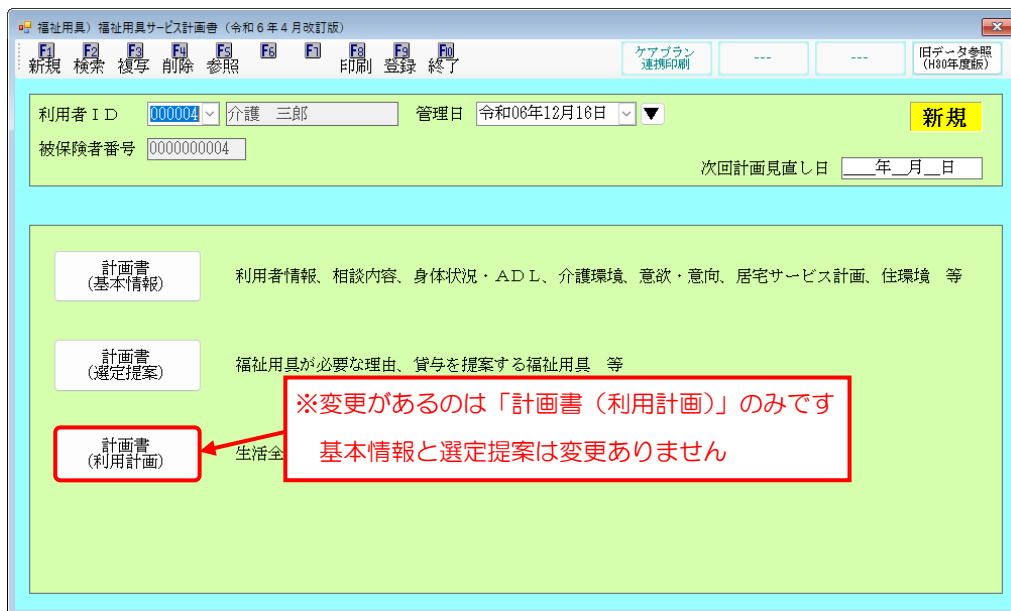


- ⑦ 見直しがすべて終わったら **F9 登録** をクリックして登録します。

■ 平成 30 年度版から令和 6 年度版に複写した後に見直しが必要な項目

下記の項目は令和 6 年度版で変更された項目です。したがって複写後に見直しいただく必要があります。

【福祉用具サービス計画書】



<計画書 (利用計画) | 課題・目標>



<計画書（利用計画） | 選定福祉用具>

**生活全般の解決すべき課題・ニーズ
（福祉用具が必要な理由）と対応する番号
→複写後に目標/達成状況の該当番号を選択**

**型式/TAIS・届出コード
→複写後に入力が必要**

サービス種目	機種名、TAIS・届出コード、型式	単位数	選定理由
特殊寝台貸与	特殊寝台001	1000	立ち上がりが困難なので、高さを膝下の長さのベッドを選定。

※6行目以降は2枚目に印刷されます

選定福祉用具（レンタル・販売）入力

生活全般の解決すべき課題・ニーズ
（福祉用具が必要な理由）と対応する番号

補助

サービス種類 17-福祉用具貸与

サービス内容 1003-特殊寝台貸与

サービス種目（貸与・販売） 特殊寝台貸与

機種名 特殊寝台001 補助 福祉用具台帳参照

単位数 1000単位 0円

型式

TAIS・届出コード

選定理由 2-大
立ち上がりが困難なので、高さを膝下の長さ以上に調整できるベッドを選定。

確定

【モニタリングシート】

<利用者情報>

確認手段
→ 「他」を追加。訪問・電話以外で確認した場合に入力

次回モニタリング日
→ 複写後に入力が必要

<利用福祉用具>

福祉用具利用目標と対応する番号
→ 複写後に目標/達成状況の該当番号を選択

(4) 選定提案より取得ボタンの変更

令和6年度版の計画書では、選定した福祉用具とその用具の課題・目標を紐づける必要があります。

この変更にあわせて介五郎でも選定提案の課題と選定福祉用具を連動して取得できるようにし、操作が簡単になるように見直しました。「利用計画」メニューにおいて、**選定提案より取得**ボタンを「課題・目標」画面に統一し、「選定福祉用具」画面からは削除しています。

「課題・目標」画面の**選定提案より取得**を実行すると、「選定福祉用具」の内容も同時に取得されます。

【旧様式（平成30年度版）】

(利用計画 | 課題・目標)

(利用計画 | 選定福祉用具)

どちらにも**選定提案より取得**がある
→それぞれ別々に取得する必要がある

【新様式（令和6年度版）】

(利用計画 | 課題・目標)

(利用計画 | 選定福祉用具)

「課題・目標」画面にだけ**選定提案より取得**がある
→実行すると課題と選定福祉用具を同時に取得する

「選定福祉用具」画面からボタンを削除

(5) [利用計画] 福祉用具貸与を販売に変更した場合

貸与と販売の選択制の導入により、固定用スロープ・歩行器（歩行車を除く）・単点杖（松葉づえを除く）・多点杖については貸与か販売を選択できることを提案・説明するよう義務付けられました。このことより上記福祉用具に関しては、選定提案では貸与で入力していた用具が利用計画で販売に変わるケースが発生します。

介五郎では販売になった場合「利用計画」にて福祉用具販売を入力します。該当の福祉用具を選定提案から利用計画に取得して入力する場合、取得後にサービス種類を販売に切り替え、サービス種目・金額を入力することで販売に変更できます。

<選定提案 | 貸与を提案する福祉用具>

The screenshot shows the '選定提案' (Selection Proposal) window. On the left, a table lists proposed welfare equipment. A red box highlights a row for a walker (歩行器) with the following details:

行	提案品目 (商品名・規格・型式) TAISコード	貸与価格 (円)	全国平均 貸与価格 (円)	提案する理由	説明方法	備考
1	歩行器 ・HOKOUKI-001 ・00980-000440	3,500	3,768	外出時の安全な移動手段を得るため	Webページ 実物	

A red box below the table contains the text: **固定用スロープ・歩行器・単点杖・多点杖のいずれかの貸与を提案** (Propose rental for fixed ramps, walkers, single-point canes, or multi-point canes).

On the right, the detailed view for the selected item shows:

- 「福祉用具が必要な理由」と対応する番号: 1 (補助)
- サービス種類: 17-福祉用具貸与
- サービス内容: 1009-歩行器貸与
- 種目: 歩行器
- 提案品目(商品名): HOKOUKI-001
- 機種(型式): MODEL-001
- TAISコード: 00980-000440
- 単位数: 350単位
- 貸与価格: 3,500円
- 全国平均貸与価格: 3,768円
- 提案する理由: 外出時の安全な移動手段を得るため
- 説明方法: Webページ, カタログ, TAISページ, 実物

貸与か販売を選択した結果、販売に決定

The screenshot shows the '利用計画' (Usage Plan) window. A table lists the planned welfare equipment. A red box highlights a row for a walker (歩行器) with the following details:

行	サービス種目	機種名	TAIS・届出コード	単位数	選定理由
1	特殊貸与貸与			1000	立ち上がりが困難なので、高さを膝下の長さ以上に調整するベッドを選定。

Red boxes and arrows indicate the modification steps:

- ① サービス種類を特定福祉用具販売に切替 (Change service type to specific welfare equipment sale)
- ② サービス種目欄が空白になるので入力 (Input service item since the field is blank)
- ③ 単位数にかわって金額を入力 (Input amount instead of units)

The detailed view on the right shows the updated entry:

- 「福祉用具が必要な理由」と対応する番号: 1 (補助)
- サービス種類: 41-特定福祉用具販売
- サービス内容: (blank)
- サービス種目(貸与・販売): (blank)
- 機種名: HOKOUKI-001
- 単位数: 0単位, 0円
- 型式: MODEL-001
- TAIS・届出コード: 00980-000440
- 選定理由: 外出時の安全な移動手段を得るため

2-1-2. 画面説明

入力画面の変更点について、変更箇所のみご説明します。

① 福祉用具サービス計画書（令和6年4月改訂版）>

設定・表示項目

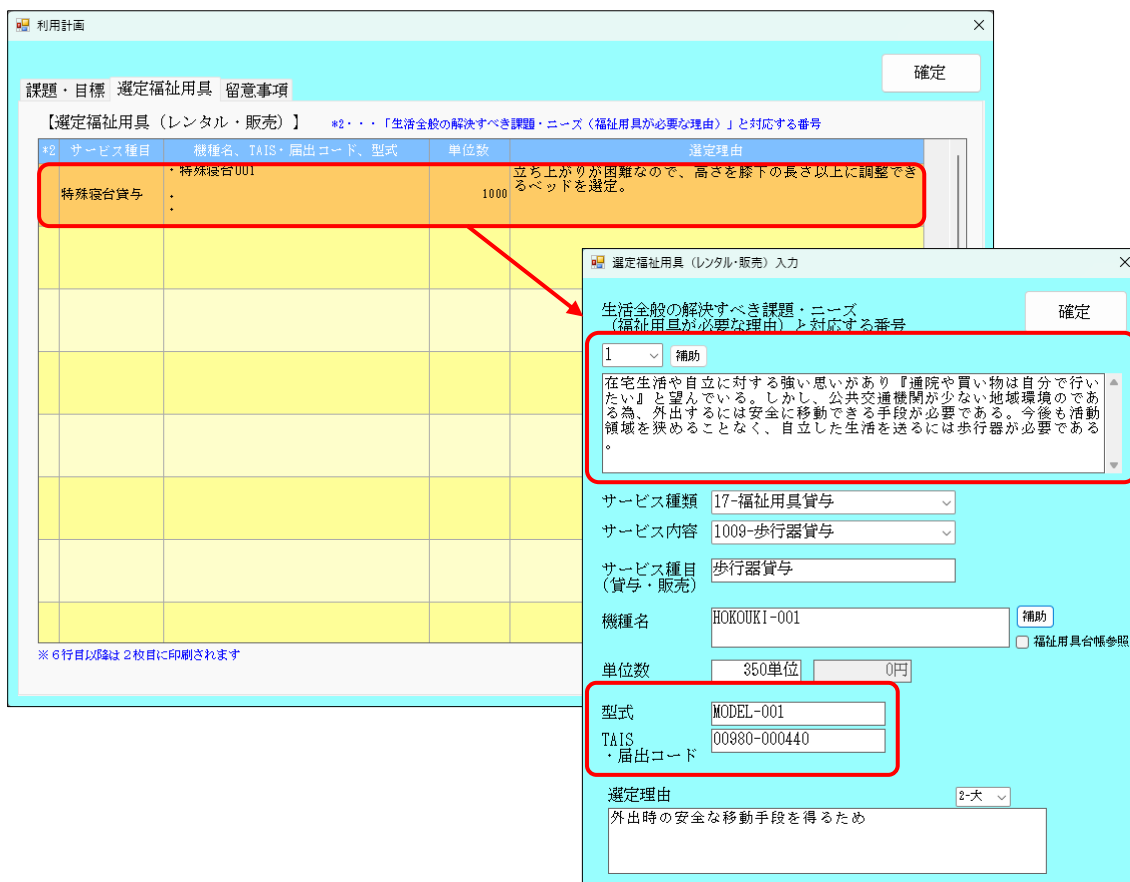
説明	
計画書（基本情報）	今回の改訂で変更された項目はありません。
計画書（選定提案）	
計画書（利用計画）	次回モニタリング日や選定福祉用具の入力項目の一部が変更されています。

（計画書（利用計画） | 課題・目標）

設定・表示項目

説明	
次回モニタリング	次にモニタリングを行う年月日を入力します。

（計画書（利用計画） | 選定福祉用具）



設定・表示項目

説明	
生活全般の解決すべき課題・ニーズ （福祉用具が必要な理由）と対応する番号	課題・目標タブで入力した内容のうち、該当の福祉用具貸与に対応する番号を選択します。
型式	福祉用具の型式を入力します。
TAIS・届出コード	TAIS コードまたは届出コードを入力します。

② モニタリングシート

<利用者情報>

福祉用具 モニタリングシート (令和6年4月改訂版)

利用者ID: 000004 | 介護 三部 | 管理日: 令和08年12月16日 | 修正

被保険者番号: 0000000004 | モニタリング実施日: 令和08年12月16日

利用者情報 | 目標/達成状況 | 利用福祉用具 | 利用者等の変化/総合評価

お話を伺った人 利用者 家族 他

確認手段 未設定 訪問 電話 他 インターネット通話

利用者名: 介護 三部

要介護度: 23-要介護3 | 認定期間: 令和04年08月01日 ~ 令和08年07月31日 | 台帳跳込

居宅介護支援事業所: インフォ・テック ケアプラン | 担当ケアマネジャー: ケアマネジャーA

福祉用具専門相談員名: 000001 | 担当A

設定・表示項目

説明	
確認手段	電話・訪問の他に「他」が追加されました。「他」を選択した場合は白枠に使用した確認手段を入力してください。

<利用福祉用具>

福祉用具 モニタリングシート (令和6年4月改訂版)

利用者ID: 000004 | 介護 三部 | 管理日: 令和08年12月31日 | 修正

被保険者番号: 0000000004 | モニタリング実施日: 令和08年12月31日

利用者情報 | 目標/達成状況 | 利用福祉用具 | 利用者等の変化/総合評価

【利用福祉用具】 ※1・・・『福祉用具利用目標』と対応する番号

利用福祉用具 *(サービス種目)	機種(型式)	利用開始日	利用状況 の把握	点検結果	今後の方針	理由等	※選択
1 特殊寝台貸与	特殊寝台001	令和08年12月01日	1-なし	1-問題なし	1-継続	負担軽減に役立	

利用計画より取得 ※9桁目以降は2桁目に印刷されます

利用福祉用具入力

福祉用具利用目標と対応する番号: 1 | 補助 | 確定

起居室動作時の痛みの緩和

サービス種類: 17-福祉用具貸与

サービス内容: 1003-特殊寝台貸与

利用福祉用具(サービス種目): 特殊寝台貸与

機種(型式): 特殊寝台001 | 補助 | 福祉用具台帳参照

利用開始日: 令和08年12月01日

利用状況の問題: 1-なし

点検結果: 1-問題なし

今後の方針: 1-継続

理由等: ※選択制対象種目の検討含む | 2-次 | 負担軽減に役立っているため

設定・表示項目

説明	
福祉用具利用目標と対応する番号	目標/達成状況タブで入力した内容のうち、該当の福祉用具貸与に対応する番号を選択します。



発行：株式会社インフォ・テック

〒537-0025

大阪府大阪市東成区中道3丁目15番16号 毎日東ビル2F

(TEL) 06-6975-5655 (FAX) 06-6975-5656

<https://www.info-tec.ne.jp/>